



L-Acoustics Syva が、ピオリアの Scottish Rite Theatre のクラシックな外観を維持しつつ、現代的なサウンドを提供



2台の白のX12が、アンダーバルコニーのディレイスピーカーとして配備されています。

Syva はどんな場所でも外観に解け込みますが、ピオリアにあるこの美しいゴシックリバイバルの会場では、L-Acoustics の A10、5XT、X12、X8 スピーカーも、外観の美しさを邪魔することなく音の美しさを加え、Syva サウンドシステムを完成させています。

2021年7月

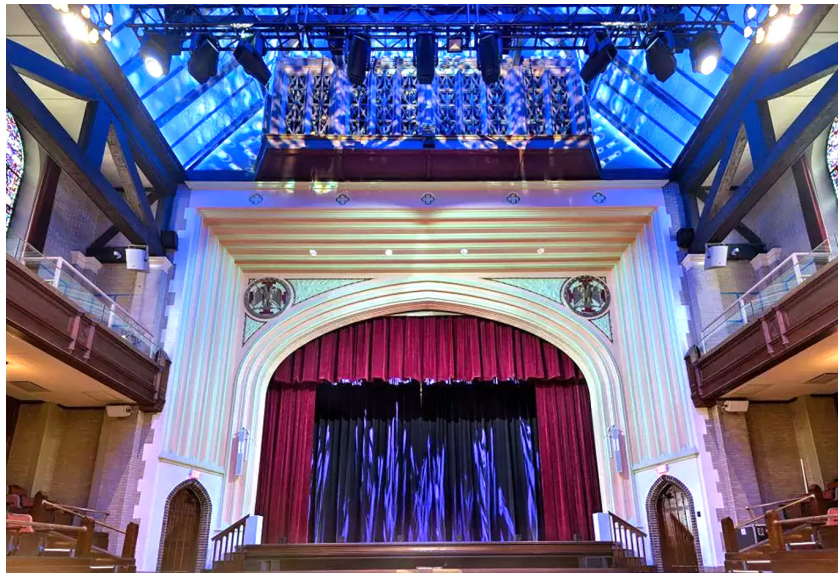
Scottish Rite Theatre、通称「Scotty」は、1925年にフリーメイソン団体「Scottish Rite」の大聖堂として建設されました。このゴシック様式の建物は、最近、500万ドル以上の改修費用をかけた工事が行われ、現在、イリノイ州ピオリアのダウンタウンに最先端のパフォーマンスとイベントを開催する会場になっています。国家歴史登録財に指定されている Scotty は、800席の劇場、光り輝くステンドグラスの窓、300人収容の下層階のボールルーム、地下のキッチンやバンケット施設を含む約930平方メートルのスペースを備えています。この劇場では、シカゴに本社を置くインテグレーターである Creative Technology 社が今年初めに設置した L-Acoustics 社の [Syva](#) サウンドシステムが、素晴らしいサウンドを実現しています。

「Syva は Scotty の SR に最適なソリューションでした。」と Creative Technology 社のインストールプロジェクトマネージャーである グレグ・ムーア (Greg Moore) 氏は話します。「このプロジェクトでは、美観がクライアントにとって最も重要なものだったので、最高の音質を提供しながら目立たないシステムが求められました。L-Acoustics に発注した Syva を白バージョンにし、プロセニアムの側面にある溝になったトリムに設置することで、実質的にカモフラージュすることができました。吊り下げには、メーカー独自の取り付け金具と特注のユニストラットブラケットを組み合わせ使用しました。スリムでパワフルな Syva のフォームファクターは、この会場のプロセニアム構造に完璧にフィットしています。」



ピオリアにある約100年前に建てられた Scottish Rite Theatre、通称「Scotty」。





白のL-Acoustics SyvaとSyva LowがScottish Rite Theaterのステージの左右に配置され、2台のX12がニアバルコニーサイドフィル、2台のX8がアンダーバルコニーサイドフィルとして使用されています。

The Scottyの新しいシステムは、ステージの両サイドに取り付けられた1台のSyva エンクロージャー、各メインSyva コラム下のステージ上に配置された白いSyva Low、オーケストラピットに配置された4台のKS21 サブウーハー、そしてフロントフィルとしてステージリップ全体に設置された6台のコアキシャル5XTで構成されています。さらに、バルコニーフィルとして片側2台のA10 Focusと1台のA10 Wide、ニアバルコニーサイドフィルとして2台のショートスローコアキシャルX12、アンダーバルコニーサイドフィルとして2台のX8 スピーカー、アンダーバルコニーディレイスピーカーとしてさらに2台のX12が配置されています。6台のLA4X アンプリファイド・コントローラがシステム全体をドライブしています。

ムーア氏は「この会場はもともと音響的に優れており、自然な拡がりがあるため、音響処理の必要はありませんでした。」と続けます。「また、L-Acousticsを導入したことで、必要なインパクトを得るためにシステムに負担をかける必要がなくなりました。Syva 自体は能力の40%程度で、他のスピーカーからも十分にサポートされています。Syva Low エンクロージャーはSyvaとKS21 サブウーハーの間をうまくサポート

してくれています。」このシステムは、客席エリアと周波数スペクトルの両方を難なくカバーしているそうです。

Scottyの親会社であるKDB Groupのパフォーミング・アーツ部門エグゼクティブ・ディレクターであるジェニー・パークハースト (Jenny Parkhurst) 氏は、Syva システムはまさに彼らが望んでいたシステムであると語り、L-AcousticsとCreative Technology社が、現代の観客とプロの演奏家の要求を満たしつつ、建物のオリジナル建築を維持し、歴史的なインテリアデザインを損なわないサウンドシステムを実現したことに成功したと評価しています。

「公表はしていませんが、何度かサウンドシステムを試してみたところ、私たちの期待をはるかに上回る素晴らしいサウンドでした!」と彼女は熱く語ります。「私たちは、Creative Technology社がパフォーマンススペースを注意深く分析し、ニーズに耳を傾け、コミュニティで最高であることを証明する最先端のサウンドシステムを導入するために費やした時間と努力に感謝しています。」



6台のコアキシャル5XTと4台のKS21サブウーハーがステージシステムを完成させています。